

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2018年1月17日

～企業が語るいきものがたりPart 11～

企業と生物多様性に関するシンポジウムを開催

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、2月22日（木）に、企業と生物多様性に関するシンポジウム「企業が語るいきものがたりPart 11」を開催します。

本シンポジウムは、企業が生物多様性の取組を推進するための情報提供の機会として2007年から開催しているもので、今回で11回目となります。愛知目標（※1）のターゲットイヤーである2020年が間近に迫っていますが、一方で、2030年をターゲットにしたSDGs（※2）との関係に関する議論が進んでいます。そこで今回は、ポスト愛知目標のあるべき姿について考えるとともに、SDGsと関連させた3つのテーマ「持続可能な水産資源の推進に向けて」「SDGsとまちづくり」「森林破壊ゼロとESG投資」ごとに分科会を用意し、議論を行います。

（※1）愛知目標

「生物多様性戦略計画2011-2020」の中核をなす世界目標のこと。生物多様性の減少を食い止めることを目的に、2010年10月のCOP10において採択されました。

（※2）SDGs

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2016年から2030年までの国際目標のこと。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

シンポジウムの概要

【主催】三井住友海上火災保険株式会社

【後援】環境省、東京都、千代田区、経団連自然保護協議会

【特別協力】一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）、株式会社インターリスク総研

【日時】2018年2月22日（木） 13:30～17:30

【場所】三井住友海上 駿河台ビル 1階大ホール（千代田区神田駿河台3-9）

【プログラム】

＜第1部＞基調講演（13:40～14:20）

- ・ポスト愛知目標に向けた動向と企業への期待（環境省 自然環境計画課長 奥田直久氏）
- ・2030アジェンダ・SDGsに必要なポスト愛知目標のあるべき姿

（公益財団法人 日本自然保護協会 道家哲平氏）

＜第2部＞企業の具体的な取組に関する3つの分科会（14:40～16:40）

	分科会1	分科会2	分科会3
テーマ	持続可能な水産資源の推進に向けて	SDGsとまちづくり	森林破壊ゼロとESG投資
内容	持続可能な水産資源の調達への取組事例や認証制度の浸透状況についての報告の後、水産資源の持続的な調達やサプライチェーンの管理のためのパートナーシップについて議論します。	SDGs未来都市（環境モデル都市）や、都市開発におけるSDGs、グリーンレジリエンスによる産業活性化に取り組んでいる事例から、まちづくりにおけるSDGsについて議論します。	ESG（環境・社会・ガバナンス）を重視する投資家と相次いで森林破壊ゼロ宣言を表明する国際企業。その背景にある大きな国際の流れを解き明かしながら、日本と日本企業が今後進むべき道を議論します。

＜第3部＞分科会のまとめ（16:55～17:30）

【参加費】無料

【定員】200名（先着順）

【締切日】2月16日（金）必着

【問合せ先】三井住友海上火災保険株式会社 総務部 地球環境・社会貢献室（富田・唐澤）
TEL：03-5117-0202 E-mail：kankyokoken@ms-ins.net

【添付別紙】企業が語るいきものがたりPart11ご案内

以上

ポスト愛知目標と求められる企業の役割 ～2020年ターゲットイヤーと2030年SDGsに向けて～

三井住友海上が主催する本シンポジウムは、企業が生物多様性の取組みを推進していくための機会として、2007年から毎年開催し、今回で11回目を迎えるに至りました。

2010年のCOP10で採択された愛知目標は、2020年をターゲットイヤーに定めています。一方で、愛知目標の進捗状況を踏まえ、2030年をターゲットにしたSDGsとの関係、2020年以降のポスト愛知目標の議論が進んでいます。本シンポジウムでは、行政や企業、民間団体の最新動向から、企業が果たすべき役割・行動等について考えていきます。またSDGsと関連させて、持続可能な水産資源の推進、SDGsとまちづくり、森林破壊ゼロとESG投資について、3つの分科会を開催します。

本シンポジウムが、皆さまの生物多様性保全の取組みにお役に立つことができれば幸いです。

プログラム

2018年2月22日(木) 13:30～17:30 (開場13:00)

※一部変更する場合があります

三井住友海上駿河台ビル 1階大ホール (千代田区神田駿河台3-9)

後援：環境省、東京都、千代田区、経団連自然保護協議会

第一部 (13:40～14:20) 基調講演

『ポスト愛知目標に向けた動向と企業への期待』

環境省 自然環境計画課長 奥田 直久氏




『2030アジェンダ・SDGsに必要なポスト愛知目標のあるべき姿』

公益財団法人 日本自然保護協会 (IUCN日本委員会) 道家 哲平氏



第二部 (14:40～16:40) 分科会

※関心のあるテーマの分科会にご参加下さい

	分科会 1	分科会 2	分科会 3
テーマ	持続可能な水産資源の推進に向けて 	SDGsとまちづくり 	森林破壊ゼロとESG投資 
コーディネーター	日本生活協同組合連合会 小野 光司氏	(株)インターリスク総研 原口 真氏	(株)レスポンスアビリティ 足立 直樹氏
パネリスト	イオン(株) 梶島裕美枝氏 日本水産(株) 森井 茂夫氏 (株)シーフードレガシー 花岡和佳男氏 WWFジャパン 三沢 行弘氏	内閣府 遠藤健太郎氏 浜松市 鈴木久仁厚氏 (株)竹中工務店 三輪 隆氏 デザイン・バル (南三陸町) 太齋 彰浩氏	林野庁 塚田 直子氏 花王(株) 田中 秀輝氏 積水ハウス(株) 佐々木正顕氏 CDP 葎嶋 真理氏
内容	持続可能な水産資源の調達への取組み事例や認証制度の浸透状況についての報告の後、水産資源の持続的な調達やサプライチェーンの管理のためのパートナーシップについて議論します。	SDGs未来都市(環境モデル都市)や、都市開発におけるSDGs、グリーンレジリエンスによる産業活性化に取組んでいる事例から、まちづくりにおけるSDGsについて議論します。	ESG(環境・社会・ガバナンス)を重視する投資家と相次いで森林破壊ゼロ宣言を表明する国際企業。その背景にある大きな国際的流れを解き明かしながら、日本と日本企業が今後進むべき道を議論します。

第三部 (16:55～17:30) 各分科会からの報告とまとめ

【コーディネーター】株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役 足立 直樹氏

■ 開催概要

- 【日時】 2018年2月22日（木） 13:30～17:30（開場13:00～）
【会場】 三井住友海上 駿河台ビル 1階大ホール（千代田区神田駿河台3-9）
最寄駅：JR「御茶ノ水駅」徒歩5分、千代田線「新御茶ノ水駅」・都営新宿線「小川町駅」
B3b 出口徒歩30秒、丸の内線「御茶ノ水駅」徒歩6分
地図：http://www.ms-ins.com/company/aboutus/outline/map_surugadai.html
※ご来場の際は公共交通機関をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- 【定員】 200名（応募者多数の場合は先着順。お申し込みの方には参加可否のご返信をメールお送りします）
- 【対象者】 ・企業のCSR・環境部門、事業部門、調達部門、総務・不動産部門の方など
・生物多様性に関係した活動をされている企業・NGO/NPO・行政の方
・生物多様性に興味を持たれている一般の方
- 【参加費】 無料
- 【主催】 三井住友海上火災保険株式会社
- 【後援】 環境省、東京都、千代田区、経団連自然保護協議会
- 【特別協力】 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）、株式会社インターリスク総研

本シンポジウムは、国内で生物多様性保全に関心の高い企業（現在45社）の集まりである「企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）」の全面的なご協力のもと企画運営しています。

■ お申込方法

- 以下URLからお申し込みください。
<https://ms-seminar.smtg.jp/public/seminar/view/829>
三井住友海上TOP > セミナー情報 > セミナー一覧「企業が語るいきものがたり」> 申込
- ネット環境のない方は、以下お問合せ連絡先まで、お電話にてお申し込みください。
- 申込締切 2月16日（金）
※お申込みが定員（200名）を超過した場合は先着順とさせていただきます。
※第二部では会場等の都合でご希望の分科会に参加できない場合もございます。予めご了承ください。

参加申込時にお預かりした個人情報につきましては、弊社の情報管理規程等に基づき、安全かつ適正に管理させていただきます。

お問合わせ
連絡先

三井住友海上火災保険株式会社総務部地球環境・社会貢献室
「生物多様性シンポジウム」事務局（担当：唐澤、富田）行
E-mail：kankyokoken@ms-ins.net（TEL：03-5117-0202）



MS&AD 三井住友海上

株式会社 インターリスク総研
MS&AD INSURANCE GROUP

JBIB
企業と生物多様性イニシアティブ